



近永駅周辺賑わい 創出プロジェクト始動

近永駅周辺地域の「賑わい」をどう取り戻していくか、皆さんのアイデアで「まちの将来」を創ります。

問 企画振興課 地域活力創出係 内線 2211

まちの未来を創造するプロジェクト

予土線における「鬼北町の玄関口」として、多くの方が利用してきたJR近永駅。しかし、近年の人口減少・社会の普及に伴う予土線の利用者の低迷、周辺地域への大規模店舗の進出等により、かつての中心地であった近永地区の商店街が衰退し、廃業等による空き店舗も増えてきました。

こうした中、近永駅周辺地域の「賑わい」をどう取り戻していくか、その拠点となる近永駅駅舎をどう整備していくかを思い描いていく「近永駅周辺賑わい創出プロジェクト」を立ち上げました。メンバーは地域の皆さんや北宇和高校生、行政職員などさまざま。また、サポート役にはあらゆる知識創造活動の支援に携わっているファシリテーターの青木将幸さんを迎え、世代を超えてこのまちの将来を語り合っています。

このまち・この駅に再び光を…

本格始動となった6月6日、まず、北宇和高校で全校生徒を対象としたワークショップを開催。「近永駅がどんなふうになったらワクワクする?」と青木さんが生徒に問いかけると、テレビがある、エアコンがある、本を持ち寄れる本棚があるなど、さまざまな答えが飛び交いました。青木さんは「人のアイデアを聞きながら、自分の意見や人の意見にプラスしてより良いものにしていくことが大切」と生徒たちに伝えました。

その後、企画振興課職員の案内の